

事業所名	障がい者グループホーム綴　～つづり～　大垣静里
報告日	令和　5年　5月　8日
評価日	令和　5年　8月16日

項目	評価の視点	【事業所記入欄】	【協議会委員等記入欄】
		具体的な内容	要望・助言・評価
1. 地域に開かれた運営	実習生やボランティア等の受け入れ	・ 受入人数：実人数	<要望> <ul style="list-style-type: none">アフターコロナの中で、年間計画的な交流活動、ボランティアの積極的な受入れや次期世代を担う福祉関係職員の育成を目的とした実習生の受入れを積極的に行って欲しい。地域のボランティアを受け入れることを機会とし、町内のイベントに参加ができるようにしていただきたい。実習生やボランティアの受け入れの告知を色々な手段を用いて行い、施設内へ外部の方の受け入れをしていってもらいたい。 <助言> <ul style="list-style-type: none">日頃より地域との連携を図ることによって非常災害時の際の連携がスムーズとなる。地域のボランティアの受け入れは、入所者の楽しみが増え、また地域の方の理解が得られ、助けが必要な時には協力してもらえる。掃除活動等で地域の交流を持つことはとても大切なこと。そうした機会より地域との結びつきが強固なものになる。 <評価> <ul style="list-style-type: none">町内との交流（おつきあい）は住民としてとても大切なこと。町内における清掃活動は評価できる。継続して活動できるとよい。
		0　名	
		・ 実習等受入事例	
	地域住民との交流の機会の確保	無し	
		・ 交流機会の事例	
		町内において、1時間程の清掃活動を行いました。	
2. 短期入所の併設	地域で生活する障がい者の積極的な受け入れ	・ 利用者数	<要望> <ul style="list-style-type: none">緊急時に受け入れをしてくれる施設がほとんどないなか、日中支援型グループホームの緊急時対応への期待は高い。受け入れ体制を整備し、積極的にアピールして欲しい。対象となる利用者及びその家族からの相談にのっていく体制整備をお願いしたい。緊急で受け入れの相談があった場合は、前向きな受け入れをお願いしたい。 <評価> <ul style="list-style-type: none">空床時の対応で受け入れ側の指定日時である場合が多く、親さんからは使いにくいとの声もあった。緊急的利用のニーズが多いと思うが、当ホームが周知されていないのではないか。3名（利用者数）は評価したい。
		3名（大垣市の支給決定者）	
		・ 緊急受入人数	
	緊急的利用のニーズへの対応	0　名 (令和3年12月1日～)	
		・ 緊急受入れの事例	
		現時点での受け入れはない。	
3. 支援の実施	利用者が充実した地域生活を送るための外出や余暇活動等の支援	・ 外出や余暇活動等の事例	<要望> <ul style="list-style-type: none">「虐待防止のために講ずる措置の概要」に記載された研修は、内部で実施されている以外に、外部で実施される研修にも積極的に参加してください。今は必要ないかもしれないが、緊急時に困らないよう看護師が常勤する体制も考えてほしい。強度行動障がい、医療的ケアの研修にも参加してもらいたい。 <助言> <ul style="list-style-type: none">重度化・高齢化等へのニーズへの対応はスピードを持って対応することが必要と思われる。1～3回体験を利用していただき、安心して生活ができる環境作りが必要であり、入居したときに納得の気持ちが必要と思う。 <評価> <ul style="list-style-type: none">評価できる。有資格者の対応が丁寧と信頼感あるという声が多い。季節に合わせたイベント（月1回）と取り入れて、利用者が安心して生活できる工夫をしており、満足度が高まる。買い物支援や病院同行は継続的に実施することによって利用者の安心・安全の気持ちが熟成される。
		買い物や病院同行。イベントとしてハロウィン、クリスマス、お花見等の季節イベント、お誕生日会など月1回イベントを行っている。	
		・ 取得した資格、参加した研修等	
	支援の質の確保（資格取得・研修等）	初任者研修、介護福祉士実務者研修、介護士	
		・ 対応事例	<要望> <ul style="list-style-type: none">体験利用があることで、ご本人、ご家族も安心される。その反面、体験利用で難しいと思われる人は利用を断られるケースもあるため、慎重に対応してもらいたい。緊急時に備えた事前情報交換を「訪問看護ステーションよいかん」と定期的（利用者と対面で）をお願いしたい。障がいの方の日中活動はパズル、お絵かき、簡単なカードゲーム等は豊富であり、継続実施の実行を要望したい。 <助言> <ul style="list-style-type: none">重度の障がい＝塗り絵・簡単なパズル・お絵かき・簡単なカードゲーム、重度障がいの想定が狭すぎと感じる。偏見にとれてしまう。 <評価> <ul style="list-style-type: none">対応事例：良い印象を持っている。体験利用の実例：本人にとっても安心感が増し、不安の軽減につながりその方が望ましい。常時の支援体制の確保の取組は、良い取り組みと思われる。医療機関との連携は利用者は最も安心できる。体験された利用者家族からサービス管理責任者がとても丁寧で利用者のことをよく考えてくれたという報告を受けた。きめ細かな対応に感謝している。
		施設で訪問看護と契約をしている。急病時、即時に訪問看護ステーションよいかんに連絡し必要により連携施設、協力医療機関に責任をもって引き継ぎをしています。	
		・ 体験利用人数	
	体験的利用のニーズへの対応	トータル15名　空2室	
		・ 体験利用の実例	
		1～3回の体験を利用していただき、安心して生活ができることを知っていただいた上で入居していただけた。	
	日中、土日を含めた常時の支援体制の確保	重度の障がいの方の日中活動として塗り絵や簡単なパズル、お絵かき、簡易なカードゲームを準備している。	

項目	評価の視点	【事業所記入欄】	【協議会委員等記入欄】
		具体的な内容	要望・助言・評価
4. 利用者の状況	利用者（予定）の障害支援区分	区分6：1名	<要望> <ul style="list-style-type: none">・重度の方の支援に力を入れられている。区分が高いから、生活能力が低いとは必ずしもとはいえない。できる作業能力、行動力を尊重して、その人にふさわしい支援や作業提供をお願いしたい。・医療的ケアの必要な利用者や強度行動障害のある利用者を受け入れる体制を整え、できるだけ多くの医療的ケアが必要な人や強度行動障害の人を受け入れてもらいたい。・空室情報など、市内の特定相談事業所への情報提供等の機会を作って欲しい。 <助言> <ul style="list-style-type: none">・多くの方が利用しており、利用者間のトラブルもあるかと思う。困ったときは協議会等を活用するとよい。他の事業所と意見交換するとヒントが得られる。 <評価> <ul style="list-style-type: none">・他の日中活動サービスの利用状況は18名中11名が利用されている中でサービス利用先の状態が非常に良いと感ずる。
		区分4：2名	
		区分2：5名	
		区分なし：0名	
	利用者（予定）の障害特性等	・医療的ケアの必要性、強度行動障害のある利用者の人数	
		18名中0名	
	他の日中活動サービスの利用	・他の日中活動の利用状況	
		18名中11名	
		・主な他の日中活動サービス利用先	
	空室がある場合（新設時含む）の対応	多機能型事業所バンデ大垣静里（生活介護 紡・B型就労 結）	
		・入居募集方法や申込状況	
		他の事業所や病院のワーカーとの連携、空室の情報提供により体験をしていただく。	
5. その他	運営の特色・工夫等	・設備面での障害特性等への配慮	<要望> <ul style="list-style-type: none">・18名の方々のニーズに合わせた同行支援は難しいと思うが、がんばって取り組んでいただきたい。 <評価> <ul style="list-style-type: none">・充実している。・訪問看護ステーションが連携しているので安心できる。・運営の特色・工夫等の具体的内容について、設備図・運営面での特色内容は評価できる。・24時間体制の相談は評価大である。
		トイレ3室（内1室車いす対応） 浴室2室・施設内バリアフリー、エレベーター、個室・全引き戸・全室エアコン・窓転落防止柵	
	特記事項	・運営面での特色等	
		散歩、買い物等、病院などの同行支援。隣接する多機能型事業所の利用。薬管理・金銭管理。	
6. 協議会からの要望・助言への対応（2回目以降）	要望・助言への誠実な対応	同法人内の訪問看護ステーションと連携し24時間体制で相談できる。	<要望> <ul style="list-style-type: none">・研修マニュアル刷新したものを拝見したい。 <助言> <ul style="list-style-type: none">・大垣市が企画する研修会等に参加すると様々な知識が得られる。 <評価> <ul style="list-style-type: none">・連絡や関係機関との連携などよくされていると思う。・2回目以降の要望・助言への誠実な対応は現時点では評価できる。
		・要望・助言の内容及びその対応	
		従業員の質の確保や特性にあわせた支援を行うため、研修マニュアル刷新、研修参加費の補助で対応。	

項目	質問項目
1 地域に開かれた運営	①実習生とボランティアの受け入れが0人の要因を教えて欲しい。受け入れ側の抑制か、ボランティア側の抑制なのか。また、今後の受け入れの見通しを教えて欲しい。
	②清掃活動への参加は年間どれくらい参加したのか。
2 短期入所の併設	③短期入所の利用者数は5/8時点（報告日）の人数か、年間的人数なのか。
	④緊急受入人数0名は、問い合わせや相談はなかったのか、受け入れ対応が難しかったのでしょうか。相談があったのであれば、その内容を教えて欲しい。今後、緊急受入事例があった場合の対応を具体的に教えて欲しい。
3 支援の実施	⑤利用者で日々「訪問看護ステーションよいかん」のサービスを受けている方はいるか。緊急時に備えた事前情報交換を「訪問看護ステーションよいかん」としているか、その頻度や内容を教えて欲しい。
	⑥体調不良時支援について：急病時の支援体制については、十分安心できると思った。しかし、看病（見守り等）については、記載がない。24時間スタッフ常駐であるため、対応していただけると判断したが、よいか。
	⑦金銭管理について：障がいの程度によると思うが、どの程度の管理をしているのかが分からない。また、グループホームとして金銭管理をしてはいけないのかどうかも分からないなかですが、考えを教えていただきたい。
	⑧重度化・高齢化等へのニーズは、医療面だけではないと思う。さまざまなニーズへの対応をお願いしたいが、医療面の他にどのような対応を行っているのか。
4 利用者の状況	⑨利用者の障害種別や年齢はどのようになっているのか。日中サービス支援型は、これまでのグループホームでは対応が難しかった重度の方等への支援が期待されてる。そのため、医療的ケアの必要な方や強度行動障がいのある方を含め、重度の方等への対応のより一層の強化をお願いしたい。
	⑩利用者（予定）の障害支援区分における区分2と区分3がほとんどの状況。なぜその区分が占める割合が多いかの原因を知りたい。
5 その他	⑪日中活動サービスについて：18人中11の方が同一法人のサービスを利用しているが、他の7人の方については、そのままグループホームで過ごしているのか、他の事業所を利用しているのか。
6 協議会からの要望・助言への対応	⑫虐待及び苦情の案件があったのかどうか、具体的に教えて欲しい。また、緊急時（事件や事故）のリスクマネジメントをどのようにしているのか教えて欲しい。
	⑬地域住民と連携した夏祭りなどのイベント、看板の変更、定期的なグループホームの見学会はどうなっているのか。それぞれへの対応をお願いしたい。